

# 東光寺小学校学校運営協議会通信 No.43

令和8年 1月13日

東光寺小学校学校運営協議会発行 会長 奥住 方彦

## 体験を通して学ぶ

会長 奥住 方彦

11月8日（土）に東光寺小学校の運動会が予定通り行われました。夏場の気温が高過ぎるため、この時期の開催が定着してきました。天気も良く、子供たちは日頃の練習の成果を存分に発揮できることと思います。また、同じ日と翌日には、第59回日野市産業祭りが開催されました。伝統と歴史のある日野市最大のイベントです。市内の農業、商業、工業の振興を目的に農産物の販売や品評会、商店の物品販売やキッチンカー、工業製品の展示やデモンストレーション等、多くの催しをしています。その中でも今年から「ヒッザニア」が催しに加わりました。ヒッザニアとは子供たちのお仕事体験です。お花屋さん、ケーキ屋さん等お店の人が直接指導し、子供たちは実際にパッケージや接客等、店員さんになりきって緊張しながらも楽しんでやっていました。また、ステージの上では、子供たちのダンスパフォーマンスが披露されました。小さな子のチームもあり、高学年チームもあり、皆一生懸命で本当に感動しました。子供たちは様々な経験をして成長をしていきます。可能性は無限大です。コミュニティスクールも子供たちを応援していきます。

### 【安全・安心部】 芝の恵み

夏休みの閉学日の午前のこと。花壇の水やりをしていると校庭に向かって学童の子供たちが足早に歩いて行く。手にはリサイクル容器をもち、声を掛けると嬉しそうに返してくれる。保育中もWBGT（命を守る指数）とのにらめっこしながら、指導員の方々が早々にポリバケツを運び入れ、水を張って準備をされていた。濡れても大丈夫なように着替えを持参し、水遊びが始まった。静かな校庭が一気にはしゃぎ声で包まれた。「待ってました！」と水鉄砲もどきで水の掛け合い、芝の上を走り回る。芝にとっても命の水、掛かる水が有難い。雨が降らない、夕立も期待できない状況で、校内の草木にも変化が見られる。しばらくするとタイマー予約したあった山側の散水機スプリンクラーからの放水が始まった。子供たちのボルテージは最高潮。スプリンクラーのノズルの先から右へ左へと「シュッシュッシュッ」と力強く水が弾き出される。それに合わせて子供たちも動いていく。「さあもっと遠くまで」と言わんばかりの弧を描きながら高々と上がる放水に、青空に水滴が光っていて暑さも忘れて見入ってしまった。子供たちは誰もがずぶ濡れなのに、顔は晴れやかで、「おもしろかったよ」と着替えに戻っていった。暑さ対策の為、学童保育室の雨戸は閉められたまま、つかの間の外遊びは、東光寺小ならではの芝の恵み。改めて夏休み中の芝の育成に携わって下さった、みどりの学舎応援隊、環境部、先生方、サポートーズの保護者の方々、子供たち、炎天下の中本当にありがとうございました。2学期の始業式の日に一日かけて念願の団地側の散水機が修理されたことは有難い。過ぎてしまうと忘れそうだが、今年の暑さは記録的だった。

（三好 啓子）

## 【学習部】子供まんなか大作戦☆ ~いつだって子どもの味方 みんながつながる児童館~

いま、日野市の児童館では「子どもまんなか大作戦☆」を合言葉に、子供たちのリクエスト企画を行ったり、児童館の使い方などを子ども会議で相談したり、子供たちの声をいかした児童館運営を行っています。先日、「学校にも児童館のリクエストBOXを置いてみたら?」と地域の方がアイデアをくださり、学校のご協力のもと設置させていただくことになりました。

子供をまんなかに、「たてのつながり」「よこのつながり」だけでなく「ななめの関係」が児童館にはあります。家でも学校でもない第三の居場所。だからこそみられる子供たちの姿もあります。「外で遊んでいたら友だちが具合悪くなった!!」と知らせに来てくれたお友だちや、「パンクしたかもーちょっとみて!」と相談にきた中学生の自転車を、立ち寄っていた地域の方がなおしてくださいましたこともありました。困ったとき、「とりあえず児童館にいってみよう!」と思つてもらえる存在でありたいと思います。いつもふらっと立ち寄れる安心安全な居場所。元気いっぱい遊んでもいいし、なんにもしないでゆっくり過ごしていい。みんなが自分らしくいられて、お互いがそれを大切にしあえるといいなと思います。

これからも、子供たちをまんなかに、地域のみなさんとともに子供たちをあたたかく見守っていきたいと思っています。

(八重樫 歩)

## 【環境部】校庭芝生の管理について 令和7年度運動会後のオーバーシード作業

新型コロナ禍を経験し当校でも運動会が午前中で終了するプログラムとなりました。それにより芝生のオーバーシード作業も運動会が終わった午後に行われるようになりました。11月8日土曜日の午後に行われたオーバーシード作業に参加して下さった人達は次のとおりです。大人36名、児童7名、合計43名でした。大人の内訳は保護者6、外部団体4、サポーター役員12、教師10、みどりの学び舎応援隊3、空園(技術指導)1でした。

みんながひとつになり一生懸命やってくださいました。本当にありがとうございました。

自然が相手なので年ごとに様々な課題が出ます。すぐに対応できる事と時間がかかる事に分かれますが、根気よく前向きに取り組んでいます。何よりも子供たちの安全安心と笑顔が私達の最高の報酬となっています。運動会に来られた斎藤前校長がこう仰ってました。「保健室から活動の報告が上がってくるんですよ。すり傷や切り傷の手当が結構多い。東光寺小ではこういう事は殆どなかったのになあ。」現在の小学校は土の校庭だそうです。斎藤前校長も芝生の効果を改めて実感されていたようでした。

今年も芝生の上で楽しく熱い運動会が行われました。また来年のその時まで多くの人達により整備され愛され、晴れの舞台として準備を整えて行きます。それは運動会の後のオーバーシードからまた始まりました。校庭芝生もまた皆さんと共に生きているのです。

今年一年間、芝生の管理のお手伝いに参加してくださりありがとうございました。

次の年も私たちは校庭芝生で共に作業する皆さんを待っています。

(速水 亨)

